

学生定員
10名

アドミッションポリシー

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程では、多様な分野で科学技術イノベーションを達成するために、イノベーション・ストラテジーを構築することができる人材の輩出を目指す。この人材輩出の目標を踏まえ、次のいずれかの資質を備えた学生を求める。

- ・工学、情報学、農学、理学、医療、薬学等の専門分野における博士課程前期課程修了相当の研究能力に加えて多様なバックグラウンドを持ったアントレプレナーシップを志向する社会人学生
- ・本学や他大学の理科系の研究科の博士課程前期課程を修了し、工学、情報学、農学、理学、医療、薬学のいずれかの専門分野における研究能力を有し、科学技術イノベーションの達成につながる研究に強い意欲を持つ学生

博士課程後期課程で養成する科学技術アントレプレナーの人材像

- ・新たにベンチャー企業を立ち上げることによって科学技術イノベーションを実現する「独立企業家」となる人材
- ・既存企業や研究機関等において科学技術イノベーションの創出に取り組む「企業内企業家」となる人材
(独立企業家と企業内企業家を総称して、**広義の「企業家」**という)
- ・科学技術イノベーションに関する研究教育を実践できる**研究者・教育者**となる人材

(注)「アントレプレナー」の訳語については、「起業家」は新たに独立して企業を立ち上げる人という対象者を限定した意味を持つことから、既存の企業内等で事業創造に取り組む人も広義のアントレプレナーであるとの議論がアントレプレナーシップに関する研究領域において展開され、現在では「企業家」の訳語を当てるのが一般的になっている。

教育課程の特色

博士課程後期課程は、先端科学技術分野における科学技術ブレークスルーを実現するとともに、**イノベーション・アイデアを自らデザイン**し、具体的なイノベーションにつなげる戦略構築、実践レベルでのイノベーション・ストラテジーを構築できる**科学技術アントレプレナーの養成**を目指し、**個々人の希望(研究シーズ)**に沿った、以下の特色ある教育課程を編成する。

【科学技術アントレプレナー養成のための文理融合による教育研究体制】

先端科学技術分野におけるブレークスルーを達成するとともに、イノベーション・アイデア(新たな製品やサービス)を自らデザインし、それを実現するためのイノベーション・ストラテジー(研究開発と事業化にむけた戦略)構築が出来る**科学技術アントレプレナーの輩出を、文理融合の教育研究体制で行う。**

【科学技術アントレプレナーの三つの活動段階に必要な能力を養成する一貫した教育課程】

- ① 科学技術ブレークスルーを達成する能力の育成:「先端科学技術特定研究」
- ② 科学技術ブレークスルーをイノベーション・アイデアにまとめる能力の育成:「科学技術イノベーション研究」
- ③ イノベーション・アイデアを実現する研究開発や、事業化にむけた戦略の構築を行う**イノベーション・ストラテジー構築能力**の育成:「科学技術アントレプレナーシップ演習」、「科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究」

【イノベーション・ストラテジー構築能力を養う科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究】

「科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究」では、**イノベーション・アイデアを実現するための研究開発**を行うとともに、「技術戦略」、「知財戦略」、「事業戦略」、「財務戦略」からなる**4つの学習モジュール**を学生自らが選択しながら**事業化に向けた戦略構築**を行い、最終的には、研究開発成果と事業化に向けた戦略を博士論文にまとめる。

【アドバイザーボードの活用】

当該各分野の専門知識(当研究科がフォーカスする技術・産業分野に関するビジネス的な意味での知見や知財、戦略、財務等の実践的な知識)と実務経験(起業や事業開発、コンサルティングやベンチャー企業の投資育成等の経験)をもつ学内外の専門家から構成される**アドバイザーボードを設置**して、活用できる体制とする。

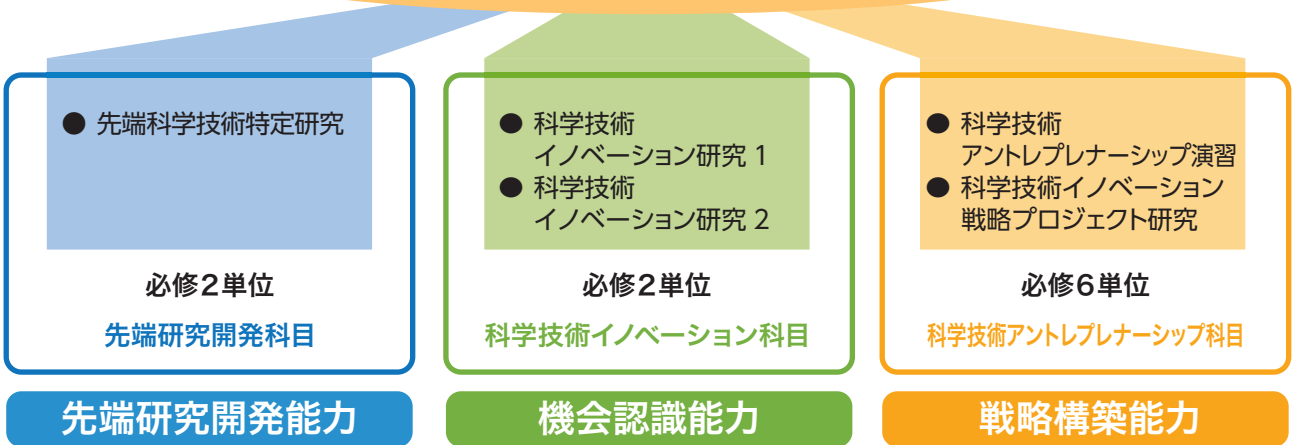
【早期修了制度の活用】

優れた研究成果をあげて、イノベーション・ストラテジーを構築できた学生は、**博士論文を審査のうえで、早期修了**できる制度を活用する。

○学位の名称 「博士(科学技術イノベーション)」

カリキュラムの構成

科学技術アントレプレナーの輩出



履修プロセスの概念図

